

リハ職が地域でより活躍するための方策について

平成 29 年 9 月に「神奈川県地域リハビリテーション連携指針」を改定し、リハビリテーション関係者が地域住民と連携して、それぞれの立場で地域リハビリテーションを推進していくという方向性が示されたことを踏まえ、今後、リハ職が地域でより活躍するための方策等を検討する。

1. 今後の検討項目（イメージ）

（1）地域でのリハ職の活用方策

- ア 地域においてリハ職に期待される役割・ニーズの整理
※在宅医療、介護、未病改善など

- イ 病院等に勤務するリハ職の地域（在宅医療、介護、市町村の健康活動事業等）での活用方策の検討

- ウ 上記「イ」に関連したリハ職の人材育成のためのジョブローテーションモデル等の検討

（2）地域のリハビリテーション体制の底上げのための支援スキーム

2. 検討体制

テーマを絞り、具体的なスキームや方策について、関係団体、行政等による少人数の WG 等を設置し、検討を進める。